

八幡台 市長と地域の懇談会

日 時：令和 6 年 5 月 17 日（金）
午後 7 時から午後 8 時 45 分まで
場 所：八幡台集会所
参加者：11 名

【内 容】

市からの報告 テーマ：ごみの減量について

- 令和 5 年 9 月から有料化をスタートし、従来のごみ袋の料金は据え置きのまま、ごみの処理費用を賄っている。
- プラスチックごみ、ミックスペーパーの分別も進んできているが、まだ十分とは言えないので、引き続き分別にはご協力をいただきたい。
- 従来のように分別されないままだと晴丘センター焼却場への負荷が大きかった。
- 燃えるごみを減らすことで最終処分場や焼却炉の延命にもなるのでぜひ協力をしていただきたい。
- 分別は進んでいるが、ごみ全体の総量では前年から 3 % 程の減少と大きく減っていない。
- 次世代の人たちにバトンを渡す意味でも、今の世代を生きる皆さんと一緒に頑張ってゴミ全体を減らしていきたい。
- 燃えるごみの中で一番多いのは調理くず、食べ残し、手付かずにそのまま捨ててしまう食料品であり、市としてフードロスを少なくしていきたい。

地域の課題：公共施設（道路等）の管理について

（インフラに関すること）

- 団地ができて 50 年経って、人口減少は続いているが、本当にインフラの問題はなかなか大きな問題である。
- 道路が老朽化している。
- 木の根で道路が盛り上がっている危険な箇所がある。
- 道路のセンターラインが薄くなって見えない。
- 水道管やガス管が老朽化していると思われ、地震の際に心配である。
- 耐震の配管があると聞いたので導入を検討してほしい。
- 木が枯れて倒木の心配がある。枯れ具合は地域でもみまわることができるのではないか。
- 犬の散歩中の排泄行為（尿）で標識などが錆びて折れる原因となっていると聞いた。飼い主が水をかけてくれるだけでも違うので、住民に周知する必要

がある。

- 側道に入ると暗いので街灯があるとよい。
- 松坂屋跡地を何とかしたい。
- 新しい小中一貫校ができるので、若い世代が八幡台に転入してくるよう、環境整備は大切。

(ゴミに関すること)

- 住民ではない外国人がゴミを捨てに来ている。

(小中一貫校に関すること)

- 新しい小中一貫校は、若い世代にとって魅力的な学校にしていかなければならない。
- 新しい小中一貫校のなかに自習室のような子どもたちが集まれる場所が必要。

(住民同士の交流に関すること)

- 地域の人が集まって、一緒に将棋ができるなど、多世代で交流できる場所があるといい。
- 外国籍の人とも一緒になってまちをつくっていけるといい。子どもたち同士の交流から学ぶべきところが多い。

(住民バスに関すること)

- 住民バスの運転ボランティアを有償にして、持続可能な方法を考えたい。

(菱野団地全体に関すること)

- 萩山台や原山台でどんな活動をやっているか知らない。
- 萩山台や原山台を含め、菱野団地全体が一つになって問題を考えることが必要。